

食品健康影響評価技術研究成果発表会（2018年度終了分）

食品安全委員会は、科学を基本とするリスク評価の推進のため、リスク評価ガイドライン、評価基準の策定等に資する提案公募型の委託研究を実施しています。2018年度に終了した研究課題について、その研究の成果の普及及び活用を促進することを目的として、2019年11月22日、以下のとおり成果発表会を開催しました。

コリスチン耐性菌の出現状況と特性解析に関する研究（酪農学園大学 田村 豊氏）

発生毒性試験における胎児形態異常に関するデータ収集と骨格変異の毒性学的意義に関する研究：
フルシトシン誘発性過剰肋骨の発現機序からの考察（国立医薬品食品衛生研究所 栗形 麻樹子氏）

食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の課題（2020年度分）

食品安全委員会は、委員会が実施する研究・調査について、毎年度、優先的に実施すべき研究・調査課題を選定し、その後、公募、審議を行い決定しています。2020年度分については、2020年3月3日に以下のとおり決定しました。

① 危害要因・ばく露実態の評価に必要な科学的知見の集積

- 家畜由来薬剤耐性菌の水圏・土壌環境を介した野菜汚染の定量評価及びヒトへの伝播に関する研究
- 新生児期から乳幼児期におけるメチル水銀のばく露評価
- 食肉由来耐性菌の全ゲノムシーケンスを用いた薬剤耐性特性解析に関する研究
- 食品中の化学物質への複合ばく露に関する情報収集調査

② 健康影響発現メカニズムの解明

- *In silico*手法の導入による食品関連化学物質の肝毒性予測の精緻化に関する事例研究

③ 新たなリスク評価方法等の活用

- ベイズ推定を活用したベンチマークドーズ法の評価手法検討と国際動向の研究
- 乾燥・貧栄養ストレス下で生残する食中毒細菌の動態解明と食中毒リスク予測手法の開発
- 海外のリスク評価機関における評価結果等に関する調査
- 加熱調理の科学的情報の解析及び画像の開発

④ その他

- 疫学研究で得られた用量反応データへのベンチマークドーズ法の適用に関する調査
- 食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションに関する意識調査

実施中の食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査はこちらを御覧ください。



研究

http://www.fsc.go.jp/chousa/kenkyu/kenkyu_ichiran.html

調査

http://www.fsc.go.jp/chousa/sougouchousa/chousa_kadai.html